

前橋市長選 告示

三つどもえ戦突入

はぎわらや そうじ
萩原弥惣治(70)
市長 無現

たかぎ まさお
高木 政夫(53)
法人役員 無新

うぶかた ひでお
生方 秀男(56)
政党役員 無新



[略歴] 2期、元県議5期、元県議会議員、元市議3期、元市議会副議長、元前広振議員、元県青年団会長。勢多農卒



[略歴] 社会福祉法人前光会理事。前県議会議員。元市議2期、元県議6期、元自民党県連政調会長。日本大卒



[略歴] 共産党前橋勢多地区委員長、党県委員会常任委員。元全国鍛造産業労組協常任委員、元理研鍛造勤務。渋川工卒

(敬称略・右から届け出順)

15日 投開票

任期満了に伴う前橋市長選が八日告示され、予想の三氏が立候補を届け出た。十五日の投開票に向け、三つどもえの選挙戦に突入した。七日現在の選挙人名簿登録者数は二十二万八千七百五十五人(男十一万六千六百六十一人、女十一万八千五百四十四人)。

立候補したのはいずれも無所属で、新人で共産党前橋勢多地区委員長の政党役員、生方秀男氏(56)「高崎市上滝町」、新人の前県議会議員で法人役員、高木政夫氏(53)「前橋市力丸町」、現職で三選を目指す萩原弥惣治氏(70)「前橋市西大室町」。

生方候補は午前九時から青柳町の事務所に出陣式を行った後、JR前橋駅前第一声。「ごみ有料化など次々と市民に負担が押し寄せている。暮らしと福祉を最優先し、市民が主人公の市政をつくりたい。国や大企業にはつきりとものを言うことが大切」と声を張り上げた。

高木候補は西片貝町の事務所では必勝祈願祭を行い、午前十一時からの出陣式で第一声。「前橋を変え

前橋市長選と同日程で実施される市議補選(欠員一)には、共産元職で党前橋勢多地区副委員長の長谷川薫氏(53)「南橋町」、無所属新人で農業の長沼順一氏(53)「東片貝町」が立候補した。

前橋市長選立候補者の選挙事務所
生方 秀男候補 前橋市青柳町139
高木 政夫候補 前橋市西片貝町1
萩原弥惣治候補 前橋市大渡町2
1 3 1 2
7 4 0 5
☎027・2260・1555
☎027・233204